

36t/hの炉筒煙管ボイラを追加導入

今般、温熱負荷の増加に対応するため、2010年12月に導入した蒸発量36t/hの炉筒煙管ボイラと同機種を、第2プラントに追加導入いたしました。

この機種は国内の炉筒煙管ボイラの中で最大容量のボイラになります。

当ボイラの増設により、センタープラントとの連系を更に強化し、地区内への熱供給の安定性を一層高めています。

当社の炉筒煙管ボイラ仕様

	第2プラント	センタープラント		
	既設・新設	既設機器		
ボイラ容量	36 t/h	24 t/h	15 t/h	9.6 t/h
設置台数	2台	1台	1台	1台
ボイラ効率※ (エコマイザー一回 収量を含む)	93%以上	92%以上		
設置年数	2010年 2014年	1988年	1993年	1988年

※ボイラ効率：ボイラに供給される燃料の総熱量に対する発生蒸気の吸収熱量の割合

$$\text{ボイラ効率(\%)} = \frac{(\text{蒸発量}) \times (\text{蒸気の保有熱量} - \text{給水の保有熱量})}{(\text{燃料消費量}) \times (\text{燃料の発熱量})} \times 100$$



2014年9月 第2プラントに増設した36 t/hの炉筒煙管ボイラ